

# 2015年3月期 第2四半期 決算報告

2014年11月7日  
株式会社 **クレスコ**  
経営企画室

## 1.1. 決算のトピックス

連結

### ▶ 連結経営成績に関する主な事項

- ⊕ 売上高 … 119億99百万円 (前年同期比 15.0%増)
- ⊕ 営業利益 … 9億69百万円 (前年同期比 68.3%増)

ソフトウェア 開発事業	金融・保険分野	前年同期を10億16百万円上回り(27.2%増)、47億52百万円
	公共・サービス分野	前年同期を2億95百万円上回り(12.9%増)、25億84百万円
	流通・その他の分野	前年同期を1億4百万円下回り(3.8%減)、26億19百万円
組込み型 ソフトウェア 開発事業	通信システム分野	前年同期を22百万円下回り(4.4%減)、4億83百万円
	カーエレクトロニクス分野	前年同期を2億63百万円上回り(65.3%増)、6億66百万円
	情報家電等・その他の分野	前年同期を1億13百万円上回り(15.5%増)、8億47百万円
商品・製品販売		前年同期を6百万円上回り(16.0%増)、45百万円

### ▶ 連結財政状態に関する主な事項

- ⊕ 総資産 … 155億14百万円 (前期末比 3億23百万円増)
- ⊕ 自己資本比率 … 61.4% (前期末 59.5%)

## 1.2. 振り返り

単体

### 全般傾向

- ◆ **ビジネス向けソフトウェア開発**
  - 全般的に受注が増加、特に金融、生命保険関連が伸長
  - スマートフォン、タブレットPC関連の案件が増加
  - 旅行、人材サービス関連の引き合い増加
- ◆ **組込み型ソフトウェア開発**
  - 国内メーカー向けのカーエレクトロニクス関連の開発が順調に推移
  - 近距離無線通信関連はBeacon関連も含め案件が増加
  - スマートフォンおよびデジタルテレビ関連開発は案件規模拡大が継続

### ◆ オリジナル製品・サービス関連

- 『**モビック**』 … SAP業務アプリケーションのモバイル化  
6月16日から販売開始、拡販のため、展示会やセミナーを活用
- 『**クレーージュ**』 … AWSをベースとしたクラウドソリューション  
活用事例が増加 システムインテグレーションサービスが伸張
- 『**インテリジェントフォルダ**』 … “ワンランク上”のオンラインストレージサービス  
新製品『インテリジェントフォルダExpress』の販売開始



### 継続課題

開発要員の確保（社員および協力会社）

新規事業の立ち上げと拡販

品質管理とプロジェクトマネジメント

## 1.3. 振り返り① 子会社

	<p>クレスコ・ イー・ソリューション</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ERP (SAP/R3)の導入コンサルティングが伸張</li> <li>◆ 既存顧客への営業活動、一括案件の発掘に注力</li> <li>◆ SAP関連サービスの業容拡大、人材採用(特に経験者)が課題</li> </ul>
	<p>ワイヤステクノロジー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 受注案件の小規模化が継続、外部パートナーとの協業ビジネス</li> <li>◆ Bluetooth Low Energyをベースとした、量産向けスマートウォッチ用モジュール開発は継続</li> <li>◆ 販売チャネルの発掘や、開発人材の確保が課題</li> </ul>
	<p>クレスコ・アイディー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 主力のセキュリティロッカーの販売は、受注が不調</li> <li>◆ RFID関連の応用製品やICタグの販売は、引き合いは増加するも案件規模小</li> <li>◆ 飲食店向け『ハンディライター』の応用製品の開発が課題</li> </ul>
	<p>アイオス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ クレスコグループ内の連携により、営業機会を拡大</li> <li>◆ 待機要員の解消や、プロジェクトマネジメント力の向上で利益増</li> <li>◆ 新規開拓と協力会社を含む人材の確保が課題</li> </ul>
	<p>クレスコ九州</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 新規開拓を含む地場企業の案件掘り起こしを行うも、受注単価は厳しい</li> <li>◆ クレスコグループとの営業連携の他、製品販売やニアショア開発で利益確保</li> <li>◆ 人材採用(特に経験者)、協力会社の確保が課題</li> </ul>

## 1.3. 振り返り② 子会社

	<p>クレスコ北陸</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 独自のITソリューションを武器に、地場企業の深耕に注力</li> <li>◆ クレスコグループでの連携を強化し、クロス営業、ニアショア開発の体制を推進</li> <li>◆ クレスコ・アイディーとの協業で開発した『ハンディライター』の拡販が課題</li> </ul>
	<p>科礼斯軟件(上海)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中国進出企業の支援ビジネスを事業の柱に、営業活動を実施</li> <li>◆ 上海地場のIT関連企業との開発体制の拡充が不調</li> <li>◆ オフショア案件も含めた案件の獲得と、開発体制の整備が課題</li> </ul>
	<p>シースリー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 信号、車両電気、交通電力等、鉄道関連の制御系システムに強み</li> <li>◆ 情報系の開発案件が堅調に推移、要員の稼働率が安定</li> <li>◆ 交通関連システム、インフラ関連システムの更なる拡充が課題</li> </ul>
	<p>クリエイティブジャパン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 一括請負型ビジネスの増加に伴い、利益率向上</li> <li>◆ ネットワーク関連の技術力を武器に、クレスコの基盤ビジネスとの連携を強化</li> <li>◆ 経営基盤の強化、人材の採用・育成が課題</li> </ul>

【注】「クリエイティブジャパン」は、2014年7月10日付で増資いたしました。

## 2. 財務経営成績 等

### 2.1. 損益計算書 [要約]

連結

単体

[単位：百万円未満切捨]

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前年 同期比	2015年3月期 予想 <2014/10/20公表>		
				第2四半期	通期	
連結	売上高	10,430	11,999	115.0%	11,950	24,000
	売上総利益	1,679 (16.1%)	2,149 (17.9%)	128.0%		
	営業利益	576 ( 5.5%)	969 ( 8.1%)	168.3%	950 ( 7.9%)	1,750 ( 7.3%)
	経常利益	708 ( 6.8%)	1,080 ( 9.0%)	152.6%	1,080 ( 9.0%)	1,900 ( 7.9%)
	当期純利益	438 ( 4.2%)	773 ( 6.4%)	176.2%	750 ( 6.3%)	1,250 ( 5.2%)
	EPS 円/株	40.66	73.38		71.49	119.15
単体	売上高	6,418	7,563	117.8%	7,550	15,000
	売上総利益	1,037 (16.2%)	1,346 (17.8%)	129.8%		
	営業利益	464 ( 7.2%)	713 ( 9.4%)	153.6%	700 ( 9.3%)	1,250 ( 8.3%)
	経常利益	613 ( 9.6%)	854 (11.3%)	139.4%	850 (11.3%)	1,450 ( 9.7%)
	当期純利益	414 ( 6.5%)	614 ( 8.1%)	148.3%	600 ( 7.9%)	960 ( 6.4%)

【注】 ( ) 内の数字は各々の利益率を表します。

## 2.2. 売上高・営業利益 推移

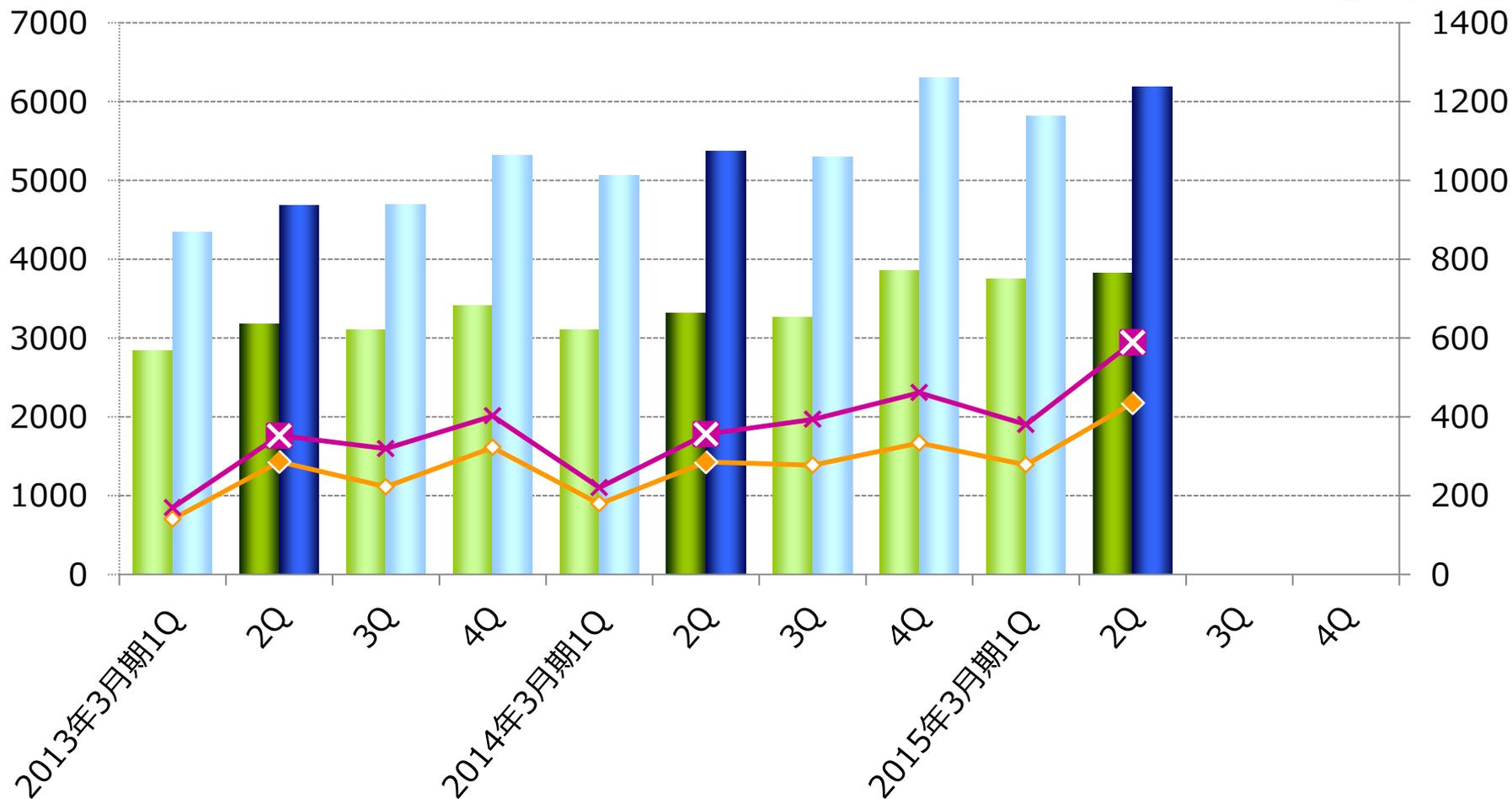
連結

単体

[単位：百万円未満切捨]

■ 単体売上高  
■ 連結売上高

◆ 単体営業利益  
✕ 連結営業利益

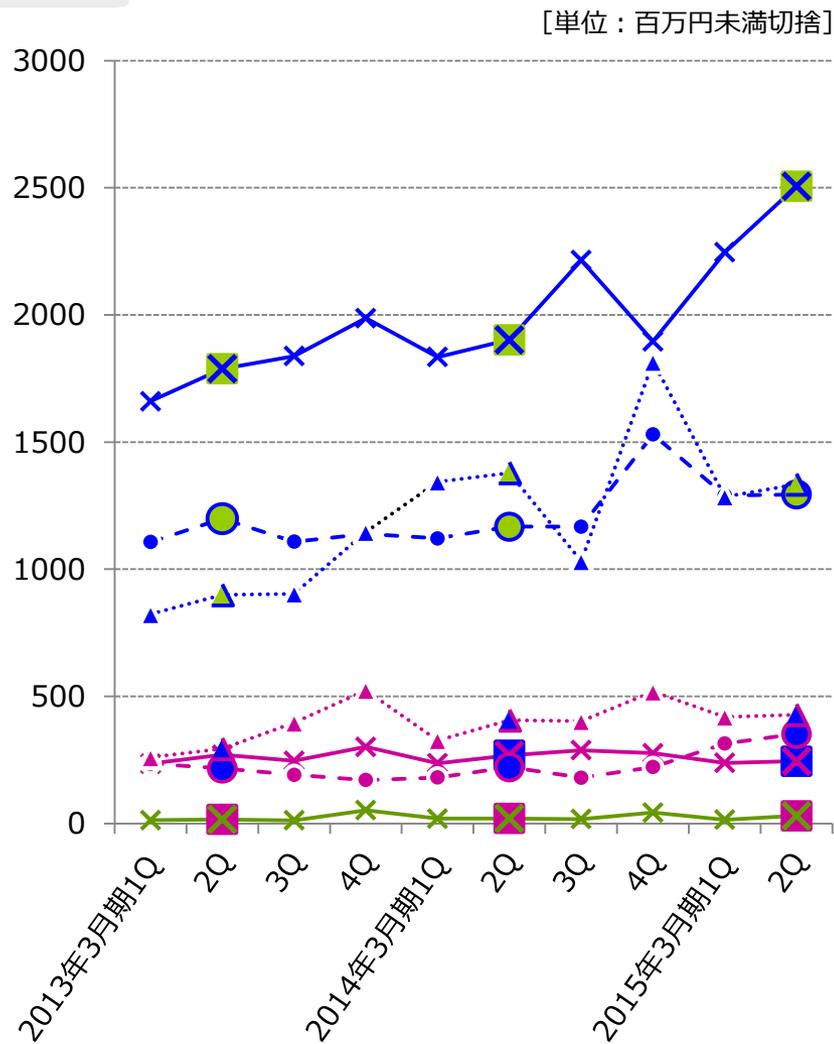


## 2.3. セグメント売上高の比較

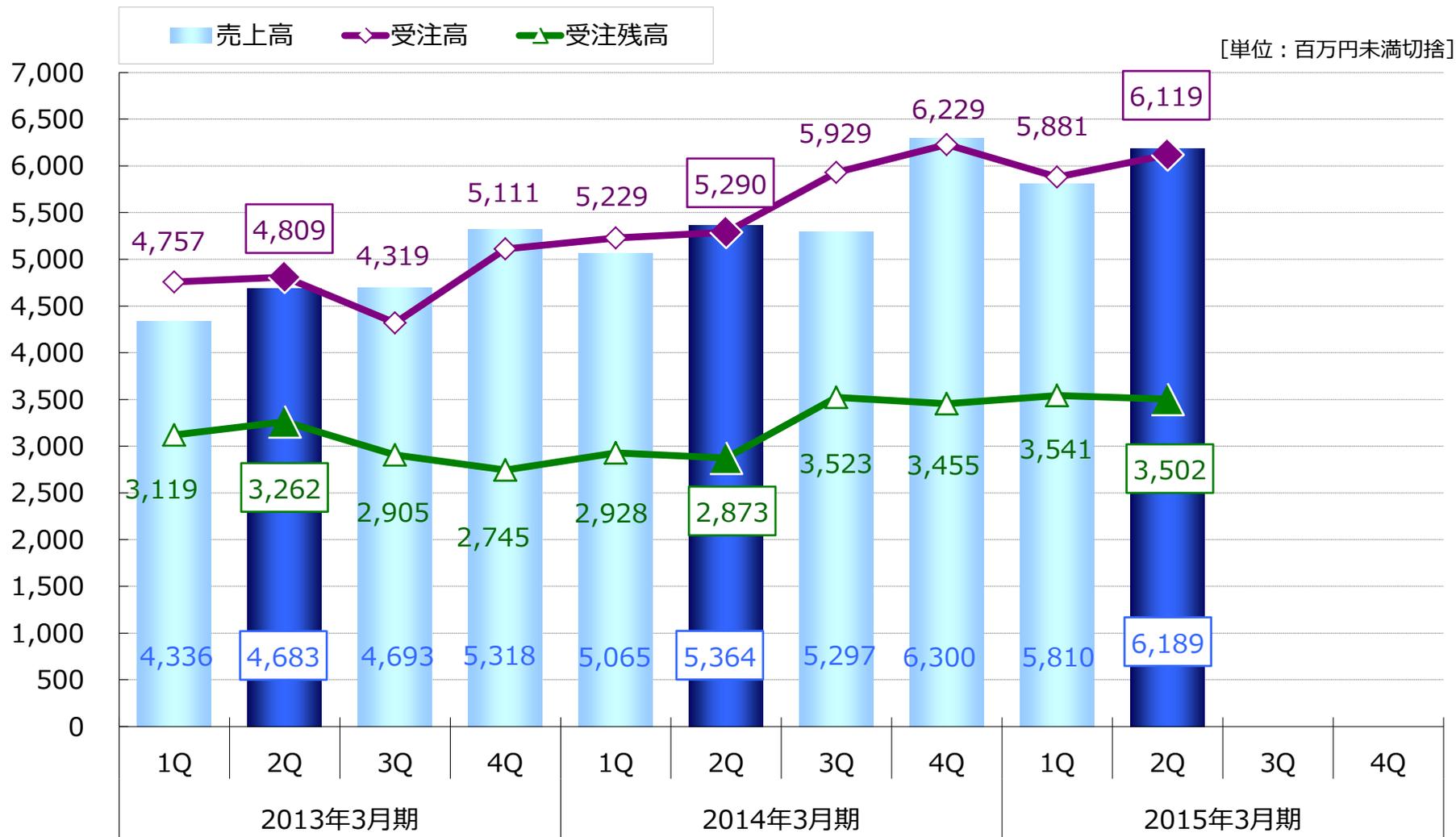
連結

セグメント		2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	増減率
大区分	小区分				
ソフトウェア	金融関連	3,736	4,752	1,016	27.2%
	公共・サービス	2,288	2,584	295	12.9%
	流通・その他	2,723	2,619	▲ 104	▲ 3.8%
	計	8,748	9,956	1,207	13.8%
組込み型 ソフトウェア	通信システム	505	483	▲ 22	▲ 4.4%
	カーエレクトロニクス	402	666	263	65.3%
	その他	733	847	113	15.5%
	計	1,642	1,997	354	21.6%
商品・製品販売		39	45	6	16.0%
<b>全計</b>		<b>10,430</b>	<b>11,999</b>	<b>1,569</b>	<b>15.0%</b>

- ×— ソフトウェア（金融）
- ソフトウェア（公共・サービス）
- ...▲... ソフトウェア（流通・その他）
- ×- 組込み（通信）
- 組込み（カーエレクトロニクス）
- ...▲... 組込み（その他）
- ×- 商品・製品販売



## 2.4. 売上高・受注高・受注残高の推移 連結



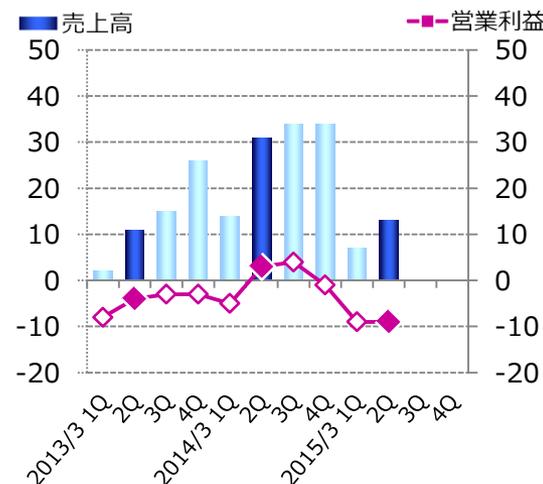
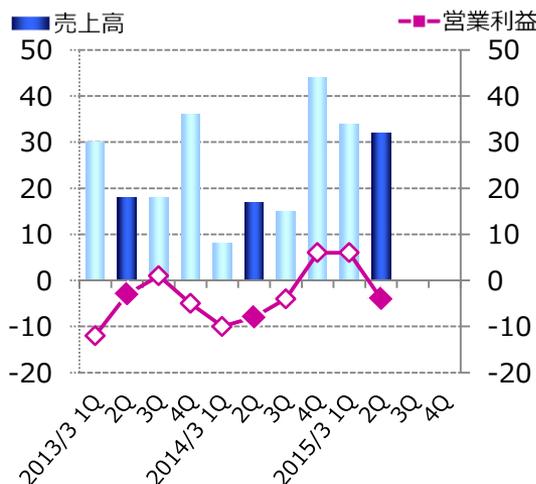
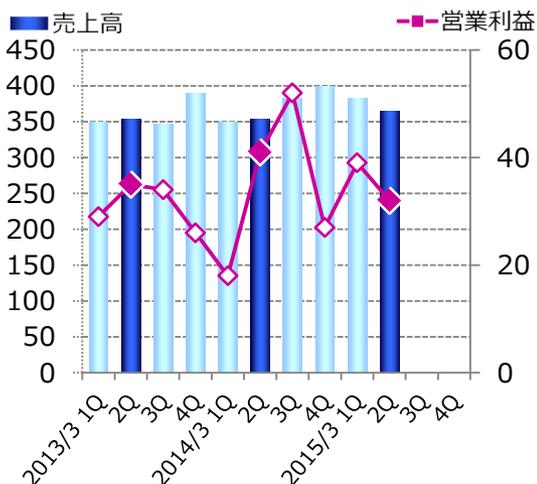
# 2. 財務経営成績 等

## 2.5. 損益計算書 [要約] ①

子会社

[単位：百万円未満切捨]

	クレスコ・イー・ソリューション [資本金：200]		ワイヤレステクノロジー [資本金：50]		クレスコ・アイディー [資本金：100]	
	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期
売上高	702	747	25	66	45	20
売上総利益	189	199	▲ 7	12	13	▲ 0
営業利益	59	71	▲ 18	2	▲ 2	▲ 18
経常利益	64	74	▲ 18	2	▲ 2	▲ 18
当期純利益	39	47	▲ 11	1	▲ 2	▲ 18
持分比率	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	100.0%	100.0%



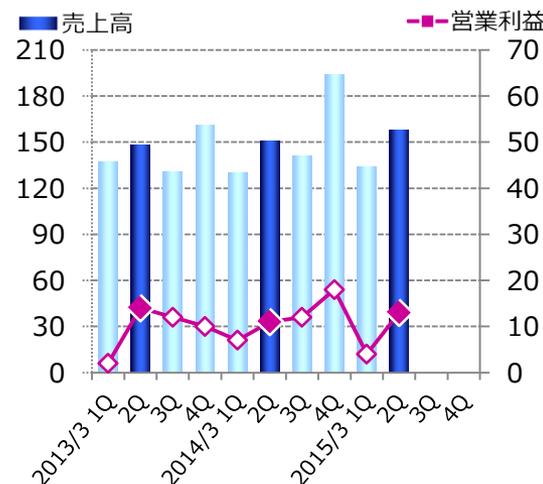
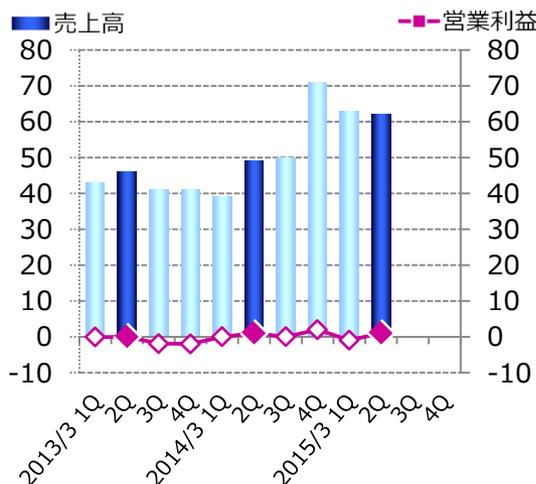
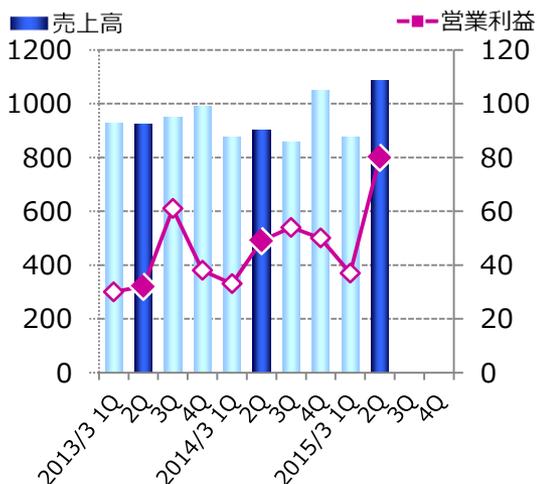
# 2. 財務経営成績 等

## 2.5. 損益計算書 [要約] ②

子会社

[単位：百万円未満切捨]

	 アイオス [資本金：313]		 クレスコ九州 [資本金：50]		 クレスコ北陸 [資本金：50]	
	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期
売上高	1,780	1,964	88	125	281	292
売上総利益	244	271	10	16	54	53
営業利益	82	117	1	0	18	17
経常利益	89	124	1	1	18	19
当期純利益	55	85	0	0	10	11
持分比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



# 2. 財務経営成績 等

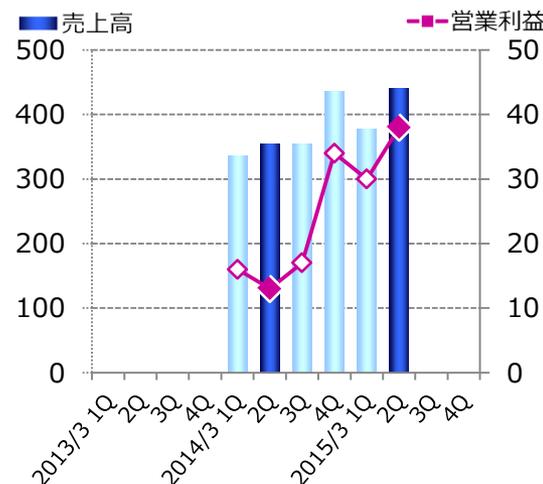
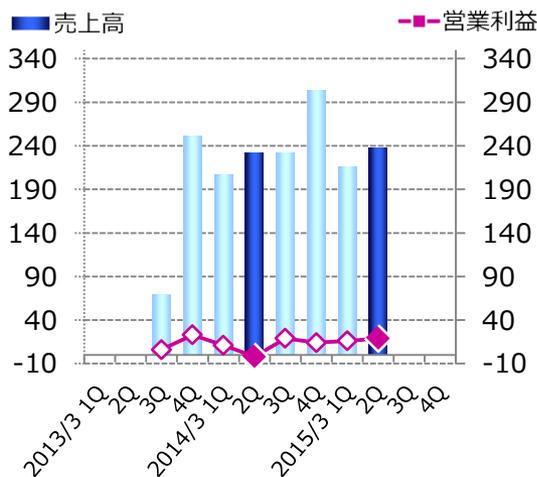
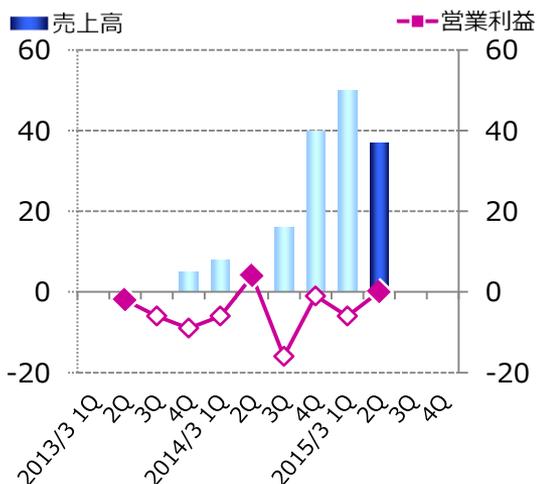
## 2.5. 損益計算書 [要約] ③

子会社

【注】「クリエイティブジャパン」は、  
2014年7月10日付で増資いたしました。

[単位：百万円未満切捨]

	科礼斯軟件（上海） [資本金： 70]		シーサー [資本金： 20]		クリエイティブジャパン [資本金： 100]	
	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期
売上高	8	87	439	454	691	818
売上総利益	▲ 2	7	53	75	92	164
営業利益	▲ 12	▲ 6	9	35	29	68
経常利益	▲ 16	▲ 8	12	36	29	68
当期純利益	▲ 16	▲ 8	9	30	21	41
持分比率	100.0%	100.0%	70.0%	70.0%	100.0%	100.0%



## 3.1. 基本方針

# 次世代クレスコの推進と収益力向上 信頼と成長

私たちは  
「メインITソリューション・パートナーを目指す」こと、  
「ワンストップ・ソリューションを提供する」ことの2つをビジョンとして掲げ、  
グループ企業と一丸となり、将来に向けて精進してまいります。

2014年度は、次世代クレスコの仕上げに入る段階であり、計画の実行とレビューを通して、  
更なる収益性の改善と企業価値の増大に向け、重点施策の具現化を推進してまいります。

- ▶ 業績の飛躍に必要な投資(製品/サービス関連イベント開催、人材採用、社員教育、先端技術研究等)は積極的に行ってまいります。
- ▶ コーポレートガバナンス強化とコンプライアンス経営の徹底を実施し、主体的にその社会的責任を果たしてまいります。

## 3.2. 重点施策

- ▶ 「技術と品質のクレスコ」の推進と技術研究所の強化  
企業グループ全体の「品質マネジメント力」の向上と先端技術を活用したビジネスの実現
- ▶ 組込み関連事業の再構築と新ビジネスモデル創出  
近距離無線関連のソリューション開発および機能安全関連の事業領域拡大
- ▶ グループ連携強化による収益性の改善と企業価値の増大  
協業による新規ソリューションの開発、クロス営業の強化、高度スキル人材の育成
- ▶ ニアショア開発、オフショア開発の推進  
地方分散開発体制強化と海外開発体制(中国、ベトナム)の整備
- ▶ クラウド関連ソリューションの展開  
第3のプラットフォームを取り込んだソリューション提案の実行

## 3.3. 今後の事業展開、株主還元方針など①

### 1 経営環境

当第2四半期連結累計期間(2014年4月1日~9月30日)の経営環境は、消費税率が引き上げられた4月以降、駆け込み需要の反動がみられましたが、経済対策が景気を下支えし、円安や人手不足などの懸念事項はあるものの概ね堅調な成長トレンドとなっております。このような経営環境を背景に大企業だけでなく、中小企業のICT投資も積極さを増しており、受注ソフトウェアやシステムインテグレーション、ソフトウェアプロダクツを中心に、引き合いも増加しております。ICT投資の戦略テーマビジネス・イノベーション指向が定着し、第3のプラットフォームといわれる「クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術」をベースとしたシステム開発のニーズが顕著になってまいりました。

### 2 今後の見通し

2014年度の国内企業のICT投資は、安倍政権による新成長戦略や企業業績の好転により、更に活性化すると考えております。また、日銀短観をみると、円安の進行、人手不足、政治不安、原油価格の高騰など、懸念も多々あるものの、内需、外需とも概ね良好であり、2014年度のソフトウェア投資額は、増加傾向にあり、クラウドやモバイル端末(スマートフォンやタブレットPC等)を利活用したシステムへの移行、ICTシステム基盤の統合・再構築、ビッグデータの分析と活用、ソーシャル・テクノロジーのビジネス活用など、需要が見込まれます。

## 3.3. 今後の事業展開、株主還元方針など②

### 3 今後の事業展開

2014年度下半期のICT投資分野は、顧客情報・営業支援、生産・在庫管理、販売管理、経営情報・管理会計といった、本業に直結する基幹系システムや情報系システムの需要が引き続き増加すると予測しております。当社企業グループは、システムインテグレーションを含む受注ソフトウェア開発を事業の柱とし、各種サービス・ソリューションやITコンサルティングを提供しております。「クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術」といったトレンドをしっかりと取込んだソリューションの展開を通じて、多様化する顧客ニーズにスピーディな対応をまいります。また、当社企業グループ各社が長年培ってまいりました技術と経験を活かして、顧客の環境変化をいち早く捉え、顧客のビジネスチャンスを支援する新規性と利便性を備えたサービスを開発するとともに、他社との共同研究やアライアンスビジネスも含めた事業を展開してまいります。

### 4 株主還元方針

株主還元方針といたしましては、何よりも業績に裏付けられた適正な利益配当に重点をおいており、特段の株主優待は行っておりません。なお、配当に関しましては、当社の経常利益を基に特別損益を零とした場合に算出される当期純利益の40%相当を目途に継続的に実現することを目指してまいります。

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業績や結果と大きく乖離するなど、本資料の内容とが異なる可能性もございます。予めご了承ください。

【 IRのお問合せ】 経営企画室

Mail : [ir@cresco.co.jp](mailto:ir@cresco.co.jp)

TEL : 03-5769-8058